ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2002年6月30日
第23号

山形市内の小学校で行った出前授業の様子

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA　PREFECTURE　ARCHAEOLOGY　CENTER
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

平成14年度の事業概要

1　発掘調査事業

今年度は国土交通省、県農林水産部・土木部、県教育委員会、県警察本部、地域振興整備公団からの依頼を受け、10件の発掘調査を実施しています。調査面積は28,230平方メートルになります。また、17件の整理・報告書作成も行っています。

No.	遺　跡　名	市町村	時代区分	種　別	調　査　期　間
1	東畑Ａ遺跡	南　陽　市	奈良・平安	集落跡	5／8～7／25
2	川前２遺跡	山形市・中山町	奈良・平安	集落跡	5／7～11／1
3	達磨寺遺跡	中　山　町	古墳～平安	集落跡	5／7～10／4
4	飛泉寺跡遺跡（第２次）	小　国　町	中世・近世	集落跡	5／13～9／13
5	泉森南窯跡	酒　田　市	平安	窯跡	5／13～7／26
6	大明神遺跡	山　形　市	平安	集落跡	9／25～11／6
7	山形西高敷地内遺跡（第６次）	山　形　市	縄文～平安	集落跡	6／4～7／25
8	高擂南遺跡（第２次）	天　童　市	古墳	集落跡	5／8～10／9
9	坂ノ上遺跡（第２次）	山　形　市	近世	集落跡	5／13～6／20
10	西向遺跡	鶴　岡　市	縄文（中期）	集落跡	7／1～9／27

No.	遺　跡　名	市町村	業務内容
1	泉森窯跡・坂ノ下遺跡	酒 田 市	報告書作成・刊行
2	釜淵Ｃ遺跡	真室川町	報告書作成・刊行
3	かっぱ遺跡	最 上 町	報告書作成・刊行
4	小田島城跡	東 根 市	報告書作成・刊行
5	高瀬山遺跡（１期）	寒河江市	報告書作成・刊行
6	高瀬山遺跡（ハイウェイオアシス地区）	寒河江市	報告書作成
7	菖蒲江１・２遺跡	天 童 市	報告書作成・刊行
8	砂子田遺跡	天 童 市	報告書作成
9	蔵増押切遺跡	天 童 市	報告書刊行
10	板橋１・２遺跡	天 童 市	報告書作成
11	的場遺跡	天 童 市	報告書作成
12	小松原窯跡	山 形 市	報告書作成
13	石田遺跡・萩原遺跡	山 形 市	報告書作成
14	服部藤治屋敷遺跡	山 形 市	報告書作成
15	馬洗場Ｂ遺跡	山 形 市	報告書作成
16	向河原遺跡	山 形 市	報告書刊行
17	渋江遺跡	山 形 市	報告書作成

2　研究・普及事業

埋蔵文化財に関する研究と保護思想の普及を目的とした活動を行います。

（1）調査説明会

発掘調査の成果を広く県民に公開するために、調査された遺跡について現地で説明を行い、あわせて出土した遺物も展示します。

開催日時などは、センターのホームページのほか、新聞・市町村広報などでお知らせします。

調査説明会（坂ノ上遺跡）

（2）発掘調査報告会

12月８日(日)、山形市のビッグウイングにおいて、14年度の発掘調査報告会を開催します。県内で行われた発掘調査の成果を写真やスライド上映を交えて報告し、出土遺物の展示もあわせて行います。

発掘調査報告会（13年度）

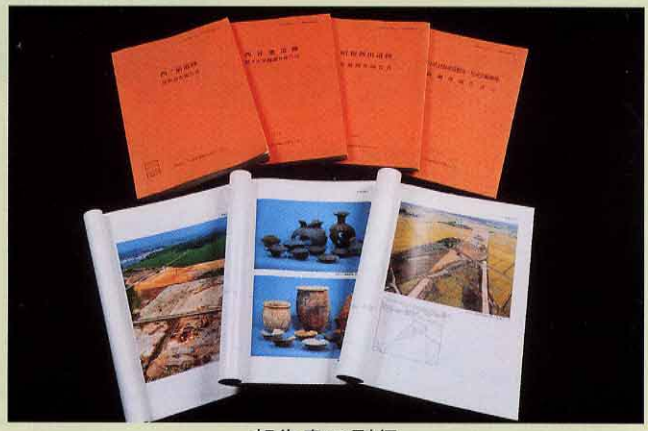
（3）広報誌・年報の発行

広報誌「埋文やまがた」を年３回刊行し、県内の学校・公民館・図書館などに配布しています。

調査成果などセンターの１年間の活動の概要をまとめた年報を、翌年度初めに刊行します。

（4）調査報告書の刊行

調査が終了した遺跡の報告書を順次刊行します。



報告書の刊行

（5）研究紀要の発刊

センター設立10年目に当たり、研究紀要を発刊します。

（6）出土文化財の保護と活用

当センターでは出土した文化財を活用するため、次のようなことを行っています。

＊特別収蔵室や整理作業の様子を見学することができます。
＊小・中・高等学校等にセンターの職員を派遣して、学校教育への支援・協力等を行います。<出前授業>
＊希望により、出土文化財の展示会などへの貸し出しを行います。

（これらの詳細についてはセンターまでお問い合せ下さい。）

特別収蔵室

出前授業はじまる！

センターでは学校教育への支援・協力を行っております。
今年度も昨年に引き続き出前授業を行っています。

どんな土器が
できるかな？
たのしみ……！

出前授業については、４つの柱をもとにした学習を展開しています。

これらの柱をもとに、各学校のねらいに応じて、多様なプログラムを用意し、授業を行います。その内容は、歴史学習だけにとどまらず、総合学習や行事等へも展開しています。

山形県埋蔵文化財センターの出前授業概念

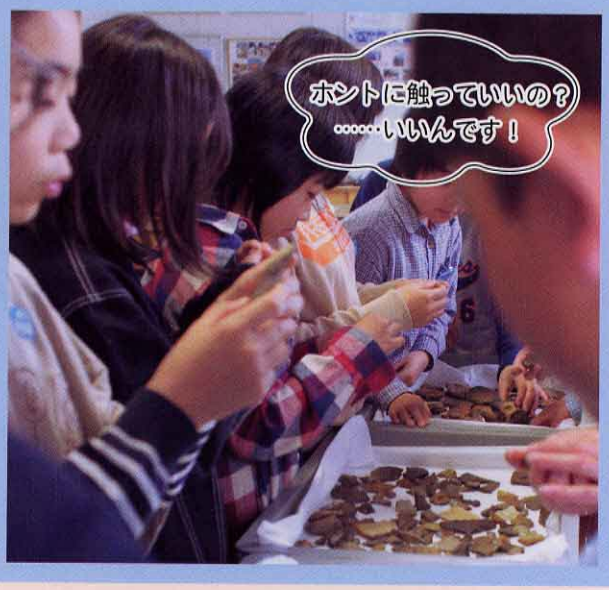
1．地域素材の活用

学校に保管されている出土品や、センターが保管する学区内等の出土品を、地域素材として活用します。

2．実物とのふれあい

本物を目にした時の生の迫力とリアル感はレプリカ教材では味わえないものです。

博物館などでは、ガラス越しでしか見られない遺物を、見て・触って、五感に訴えながら考えることができます。観察することで、文化財の大切さを学びます。



3．体験活動

出土資料をもとに復元した道具を用いて昔の人々の知恵と工夫を探ります。

子供たちの生きる力を育みます。

4．映像資料の活用

コンピュータと液晶プロジェクターを使って映像資料を映し出します。

最新の調査成果をもとに資料を紹介し、知的好奇心を呼び起こします。

出前授業ができるまで

センターの準備

計画案の作成
↓
学校周辺の遺跡分布・歴史背景の情報収集
↓
出土品・体験用具の準備と点検

依　頼

学校の準備

授業テーマの設定
↓
事前学習
子供たちの実態把握
↓
学習環境の設定

授業の打ち合わせ
センター担当と教師とで具体的な内容を検討します
↓
授業内容の決定
↓
授業実施

体験メニュー

土器つくり
石器使用
勾玉つくり
編布あみ
矢飛ばし
縄文風衣装
火おこし
出土品展示
木の実割り
縄文食……etc

詳しくはホームページで……！

今年度は、既に小・中学校合わせて10校以上から依頼を受け、出かけております。

授業内容は、学校のねらいに則しながら決定します。体験活動を主体にしたり、出土品の展示や観察を主体にしたり、土器づくりを総合学習の年間プログラムに組み込んだり、と多種多様な内容が教師との話し合いの中から生まれてきます。

学習形態は、学級単位から学年一斉まで目的に応じて選択します。

Information　～お知らせ～

出前授業の申し込みは、研究課にて受け付けしております。電話・ホームページ・メールで気軽にお問い合わせください。

担当：研究課

縄文人のファッションセンスにびっくり！

君も考古学者！

授業実践例

小学校　総合の場合

ねらい　体験学習を通して過去の人々の生活の知恵や工夫を知る

本時（２時間扱い）

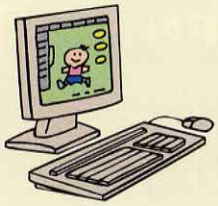
	学　習　活　動
導　入	市内や学区の遺跡の数や分布を知り、自分の身近に遺跡があることを理解する。
展　開	縄文時代の生活の知恵や工夫を、調査成果をもとにした映像資料で理解する。
	体験学習で生活の知恵や工夫を体験する。 ・石器使用 ・矢飛ばし ・出土品観察 をローテーションする
まとめ	質疑応答で疑問点を明確にする 感じたこと、疑問点などを発表する

中学校　歴史の場合

ねらい　本物の土器の観察を通して、縄文時代・弥生時代の技術を知り生活様式の違いに気づく

本　時

	学　習　活　動
導　入	市内や学区の遺跡の数や分布を知り、自分の身近に遺跡があることを理解する。
展　開	実物の土器をルーペや虫メガネを使って観察する。（地域素材の活用） 観察結果を発表する。
	縄文土器の製作技術を体験する。 （縄文原体の製作と施文体験）
	縄文時代から弥生時代への生活の変化を、映像資料から考える。
まとめ	今日の学習でわかったこと、疑問点などを書いてまとめる。 発表する。



ホームページのご案内

コンテンツの紹介

発掘調査速報……今年度調査遺跡の情報を、毎週更新してお伝えしています。
調査遺跡一覧情報……今年度の発掘調査遺跡や整理作業中の遺跡を紹介しています。
イベント情報……調査説明会の日程案内や各種研究会の情報を提供しています。
センター刊行物案内……調査報告書をはじめ広報誌などの刊行物を紹介しています。
学校教育への協力……「出前授業」を中心にして、学校の先生方へ授業のアイデア等を提供しています。
THE NORING STONES……発掘調査の裏側を徹底取材する企画です。
デイスクロージャー……情報公開制度の基づき、センターの情報を開示しています。
弁天秘宝館……保管している出土品や遺構の写真を公開しています。
弁天掲示板……書き込み自由の掲示板です。

www.yamagatamaibun.or.jp

検索サイトで「山形県埋蔵文化財センター」を打ち込むと検索できます。
メールでのお問い合わせは、

kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

編集後記

昨年５月に開設したホームページは、現在まで約２万１千件のアクセスがありました。本誌とともに埋蔵文化財の啓蒙普及を図るため、より多くの皆さんに情報を提供できるようになりました。ぜひ一度ご利用の上、ご意見などお寄せください。